

日・カザフスタン外相会談に関する共同プレス発表【骨子】

2010年3月24日、東京

1. 政治対話、外務省間協議の実施

－種々のレベルの政治対話、外務省間協議を定期的に実施する意向を確認

2. 原子力分野の協力

－日・カザフスタン原子力協定の署名を歓迎し、同協定を早期に発効させる意向を表明

－カザフスタン国内の核セキュリティ強化プロジェクトの順調な発展を高く評価

－日本企業のウラン鉱山プロジェクトへの参画及び開発に向けた取組を進めることで一致。レアアース資源に関し日本企業とカザフスタン原子力公社による共同開発プロジェクトの進展を評価

3. 政府開発援助（ODA）による協力

－日本側は、「CAREC物流回廊（ジャンブル州）整備計画」に円借款を供与する意向を表明

4. 欧州安全保障協力機構（OSCE）

－日本側は、2010年のOSCE議長国として、中央アジア地域及びOSCE域内全体の安全保障強化、安定及び民主化の一層の進展に取り組むカザフスタンのイニシアティブを支持

5. 「中央アジア＋日本」対話の下での協力

－カザフスタン側は、同枠組みを通じた日本国の取組を高く評価。同対話を通じた協力の継続は、地域諸国共通の関心分野における協力促進の基盤を形成。次回外相会合開催に向け引き続き協力

6. 二国間経済関係

－日本・カザフスタン経済官民合同協議会及び日本カザフスタン合同会議の重要性と、「日カザフスタン投資環境整備ネットワーク」構築の必要性を強調

－日・カザフスタン投資協定の第1回締結交渉が近く予定されることに期待を表明

7. 宇宙協力

－宇宙航空研究開発機構（JAXA）とカザフスタン宇宙庁（Kazcosmos）との取決めの署名を歓迎

8. アフガニスタン情勢

－アフガニスタン政府が治安回復やガバナンスの改善に積極的に取り組み、体制整備を進めることを国際社会が一致して支えていくことが重要であるとの認識で一致

9. 気候変動問題

－「コペンハーゲン合意」を踏まえ、新しい1つの包括的な法的文書を早期に採択し、すべての主要国が参加する公平で実効性のある国際的枠組みの構築を目指し協力していくことで一致

10. 核軍縮・不拡散

－核兵器のない世界への途上で核リスクの低い世界を実現させる必要性の認識を共有

11. 国連安保理改革

－国連安全保障理事会の改革の早期実現のために協働して積極的に取り組んでいく決意を表明

－カザフスタン側は日本の常任理事国入りを改めて支持。日本側は同国の支持に深い謝意を表明

12. アジア信頼醸成措置会議（CICA）

－日本側は、カザフスタンのCICAイニシアティブを高く評価、第3回CICA首脳会合開催を歓迎

－アジアの平和と安定促進のためCICAの枠組において協力していく用意があることを確認

13. 北朝鮮問題

－北朝鮮に対し、即時かつ無条件の六者会合への復帰と、核放棄を含め、2005年9月の六者会合共同声明及び関連するすべての国連安保理決議の完全な実施を要請

－国際社会が国連安保理決議第1718号及び第1874号を着実に実施することの重要性を確認

－北朝鮮が、拉致問題の早急な解決を含め、人道上の懸念について対応する必要性を改めて強調（了）